

職員による自己評価

A環境面

- 広めの室内（お子さんにとってはほどよい広さ）
- 目的に応じて使い分けできるいろいろな教材
- 換気・消毒などの感染症対策

B児童への支援内容

- 感覚のアンバランスを整える体を使った遊び
- 精神面の安定を第一に考えた支援
- お子さんのやる気を引き出す楽しい内容

C関係機関との連携

- 地域療育センターや相談事業所とモニタリング等でお子さんの状況について支援内容や方向性の確認をしている。

D保護者への説明責任・信頼関係

- 療育の都度、ノートへの記録や会話を通して、双方のやりとりをしている。

E非常対応

- 職員による定期的な避難訓練、防災関連用具などの点検を行っている。
- また、お子さんに対しては、危険な状態の理解や「あわてない」「先生の話聞く」等の避難時のマニュアルを指導している。

保護者による評価

A環境面

- 十分な活動のスペースがあり、適切な職員の配置数や専門性をもって支援にあたっていると評価されている。

B児童への支援内容

- お子さんと保護者様のニーズや課題が客観的に分析されたうえで支援計画が作成され、固定化しないよう工夫されていると評価されている。

C事業所からの情報発信

- HPに月別内容の予定表やブログがあれば、子供の見通しが立ち、様子がよりわかるとのご意見があった。

D非常対応

- 定期的な避難、救出、その他必要な訓練の実施については「どちらともいえない」という評価が多かった。

事業所内での分析

【共通点】

療育の都度、記録ノートや保護者様との会話でのやり取りから、お子さんの成長や課題について共通理解し、臨機応変な対応を行っている。

【相違点】

非常時に備え、定期的にお子さんが訓練を実施する必要性を、保護者様は感じていると思われる。また活動報告のブログはあるものの、HPからリンクしていないことは課題である。

分析・検討してみて…

事業所の強み

- 自分の頭と体を使って楽しく活動するように、臨機応変に対応している。
- お子さんの興味・関心に注目し、支援計画の目標にも合わせながら、『楽しみながら育つ』自己肯定感を高められるお手伝いをしている。
- 事業所内で行ったことが、家庭や学校でも取り組めるような、楽しく身近な遊びや運動や、逆にルナでしかできないような活動をして、固定化しないように工夫している。

事業所の改善点

- 活動内容について、工作は月別の紹介が可能だが、運動などの活動では月別ではなくお子さんの状況や課題に応じた『内容の紹介』をHPなどで提示する。
- 活動報告としてのブログをHPからリンクできるようにする。
- 非常時に備えて、お子さんに対してのマニュアルの理解を含めた定期的な訓練を実施する。

事業所の改善への取り組み

- お子さんの様子や保護者様のお話から、課題と目標、それに見合った内容を考えてまとめていく。それを保護者様に紹介できるようにする。
- ブログ等の充実、分かりやすい広報活動を行う。
- お子さん向けマニュアルを教室内に掲示し、定期的に訓練を行う。

～自己評価を行っての事業所としての感想など～

- 日ごろから保護者様との会話に努め、共通理解できているつもりでいたが、今回の評価で事業所として改めて取り組むことがはっきりしてきた。
- それとともに保護者様が望むルナの療育の姿もわかったので、今後も職員一同研鑽を重ね、お子さんの自己肯定感を高めることを忘れずに、一人ひとりに合った療育を行って行きたいと考えている。

事業所名 luna もりのこびとたち

担当者 西園 邦恵